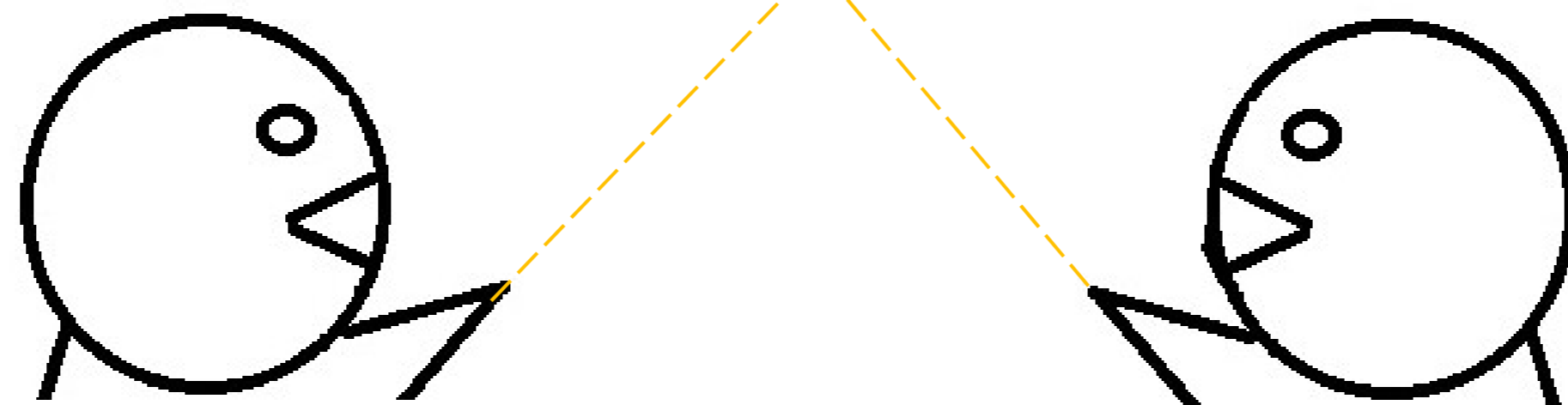


研究内容

“車は急には止まれません！”。このように車は時速60kmで1秒間のわき見をすると17mも進み、事故のきっかけを作ってしまいます。そこで私はフロントガラスにカーナビの情報を表示させ、その情報の操作に直感的な操作が可能な **Remote Touch Pointing** を応用することで、前を向いたまま直感的にカーナビを操作できる技術 **Remote Touch Navigation** について研究をしています。



パイオニア サイバーナビ
<http://pioneer.jp/carrozzeria/carnavi/cybernavi/>

現在、世界各国で**自動運転技術**についての研究が進められており、車が全自動で走る世界が目の前に来ています。この技術は自動運転が実現された世界にも応用できると期待しています。

研究の進め方は？

- プロトタイプ作成
 - 3Dセンサーで人の動きを解析
- 実証実験の実施
 - 被験者にアンケートを実施



実験風景

どうやって評価する？

- 操作手順の比較
 - UMLのシーケンス図を利用
 - 手順が少なく済むため使いやすい
- アンケートの分析
 - 直感性・安全性を評価

この研究による効果

- 直感的なカーナビ操作を実現
- 車内でのグループウェアの実現
 - 同乗者との車両情報の共有
- 自動運転実現後の世界へ
 - ドライブの新しい楽しみ方を提案

担当 三宅 雄太 (みやけ ゆうた)

□ ひとつこと:新しいことにどんどん挑戦していきましょう！！